

四季報

発行／(社)福島県建築士事務所協会 県北支部青年部 広報渉外委員会
所在地／〒960-8061 福島市五月町 4-25 福島県建設センター5階
TEL (024) 521-4033 FAX (024) 521-5087

建築士事務所協会 県北支部青年部活動 NEWS ～ 平成 24 年度 前期号 ～

＝ 平成 24 年度前期 青年部事業活動報告 ＝

◆ 平成 24 年度第 11 回 県北支部青年部 通常総会 実施日：平成 24 年 5 月 18 日（金）◆

県北支部青年部の第 11 回通常総会が開催されました。本年度は、2期4年間に渡り部会長を務めていただきました、河野忠氏から新たに、田畑建一氏を新部会長に迎え新年度をスタートしました。

「復興へ若い力の結集を」～新しい福島を担う仲間づくり～

震災から一年以上が経過し、私たちの生活も落ち着きを取り戻しつつあります。しかしながら街の様子はどこか変わりつつあり、今後も変わり続けるでしょう。変わってゆく福島を「建築」を通し、支えてゆくのは私たち青年部世代です。多くの同世代の若者の力を結集し、交流を深めながら「これからの福島」の将来像を描きたいと思えます。

平成24年度 県北支部青年部 事業方針

1. 建築主の利益を守るため、建築士事務所協会の青年として研鑽に努める。
2. 地域の中での役割を自覚し、自らもその責任を果たす。
3. 常に最新の建築動向をえるため情報の共有を図る。
4. 著名な建築に触れることにより意識の高揚を図る
5. 行政、各種団体と連携、協力を行う。
6. 会員相互の交流と親睦を通し、友情と絆を深める。
7. 震災被害の情報収集、風評被害拡大の抑止、復興の一翼を担う。

新部会長より

今回部会長をさせていただく田畑です。青年部の活動目標は「学びながら交流する」です。建築に関わる様々な事柄を学びながら、同世代の建築に携わる仲間としての交流を深めていきたいと考えています。青年部も発足以来 10 年以上が経過しました。次世代に引き継ぐ意味でも、一つ一つの活動を充実させ、魅力のある青年部活動にしていきたいと思えます。今後ともよろしくお願いたします。

今年度県北支部青年部委員会の事業計画

総務研修委員会

委員長：菅野建設株式会社
神康晴

- ・青年部員として意識向上のための講演やセミナーの実施
- ・著名な建築の視察会の実施
- ・会員相互の親睦会の実施

広報渉外委員会

委員長：大野建築設計事務所
齋藤良治

- ・異業種団体との連携、交流を通しての業界イメージアップの推進
- ・関係団体との意見交換を通して、復興に寄与する活動を行う
- ・地震、被災に関する調査、報告
- ・青年部会員の拡大と、活動広報に関する事業

◆ 平成 24 年度第 3 回 県青年部 通常総会 実施日：平成 24 年 7 月 6 日（金）◆

本年度からの県青年部は、県中支部の渡邊平部会長となりました。

平成 24 年度県青年部活動スローガン

～地域の文化や特色を活かした復興とそれらを見出せる人材の育成～

震災、原発事故後の福島を創る為に、地域の調査研究や研修等を中心に活動を進める方針を示しました。

事業報告では、川俣町の木造仮設住宅見学、旧山古志村災害復興住宅視察、県産木材勉強会等の事業報告、通年事業として作成された「震災の記憶」の配布もされました。また、缶バッチによる義援金事業での寄付の報告もされました。

通常総会終了後、各支部活動報告会を設け、県北、県中、会津、いわき、各支部毎の平成 23 年度の活動内容発表、基調講演では、「青年部がやるべきこと」～復興の現場からの提言～と題し、

東北工業大学 専任講師 福屋粧子氏のアーキエイド(東日本大震災における建築家による復興支援ネットワーク)等の内容を講演頂きました。



懇親会の様子



東北工業大学 専任講師 福屋粧子氏



配布された「震災の記憶」

◆ **平成 24 年度第 1 回例会** 実施日：平成 24 年 6 月 18 日（金）担当：総務研修委員会 ◆

平成 24 年 6 月 30 日(土)、伊達郡桑折町の桑折町民会館にて、今年度第 1 回例会となる技術研修会が開催されました。

(株)リンペイ福島支店様より「省エネ対策遮熱塗料～日本特殊塗料(株)」というテーマで、また福島県建具木工組合連合会青年部様より「復興住宅に利用できる地域材利用の木製建具」というテーマでそれぞれご講演頂きました。

今後のエネルギー政策の面から考えてもタイムリーな話題となった省エネ対策塗料について、また福島県復興住宅対応型建具「ASMK(アスモク)」を実際に持ってきて頂くなど、とても有意義な研修会となりました。

例会後は、桑折町内で懇親会を開催。青年部で毎年恒例になりつつある「ホタル観賞会」も行われました。



写真は「ASMK (アスモク)」

◆ **平成 24 年度第 2 回例会** 実施日：平成 24 年 8 月 4 日（土）担当：広報渉外委員会 ◆

福島市最大の夏祭り「わらじ祭りに」参加しました。青年部といえども平均年齢3?才が、なんと体力勝負のわらじ競争です！

普段運動とは程遠い青年部ですが、やるときはやります。隣を走るのはいかにもという方々・・・初参加の緊張もありましたスピードでは圧勝でしたしかし、やはりテクニックが必要でした。ブレーキ操作に戸惑い善戦しく初戦敗退となりました。

夜皆で来年に向けてリベンジを誓いました。



認定証

◆ **平成 24 年度 県青年部 第 1 回例会（県中支部主幹第 1 回例会）**

実施日：平成 24 年 9 月 29 日（土）県北担当：広報渉外委員会 ◆

私たち福島県建築士事務所協会青年部と、福島県瓦工事組合連合会青年部、福島県建具木工組合連合会青年部、三団体青年部での初めての例会が開催されました。

「日本の技術を再認識しよう」と題し、互いに技術や事例発表をしました。事務所協会青年部では、日本建築士会連合会賞「優秀賞」と、日事連(日本建築士事務所協会連合会)建築賞「奨励賞」を受賞した「旧堀切邸」について当人の鈴木勇人氏が発表し、県瓦工事組合青年部では、震災にも強い瓦の施工方法(ガイドライン工法)等の解説、建具木工組合連合会青年部は福島県復興住宅対応型建具「ASMK(アスモク)」の発表をしました。

互いに青年部という事もあり、これからの連携が期待される会となりました。



◆ **第 3 回 歴史的建造物を守り隊・活かし隊の隊長を志す専門家のための研修会への参加**

実施日：平成 24 年 11 月 17 日（土）担当：広報渉外委員会 ◆

11 月 17 日(土)に会津若松市のルネッサンス中の島にて開催された、第 3 回歴史的建造物を守り隊・活かし隊の隊長を志す専門家のための研修会に参加しました。

第 1 部では、まず、東日本大震災により被害にあった会津若松市内の土蔵等の歴史的建造物の復旧事例を建築事務所の方と左官工の方から被害状況によって異なる手法で改修・補修方法を学びました。次に利活用で成功されている事例として、白河市の樂蔵の事業の発足から現在に至る経緯、開業してからの体験談等を聞くことが出来ました。最後に私が見つけた登録文化財として、うずもれている歴史的(築 50 年を目安にしていました)建造物の発表を聞いてきました。第 2 部では、利活用等についてのパネルディスカッションが行われ、有意義な意見を聞くことが出来ました。

今回の研修は、今後の県北支部青年部の活動の一端である震災後古民家の現状マップ(古民家マップ改訂版)の作成に役立つ会でした。

